

～より良い結果を生み出すために～

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場
ゆめサポートバク
事業種目：就労継続支援B型
課題：工賃規定の見直し



研修受講前の事業所での課題

◎平成 18 年の就労継続支援事業利用者の労働者性に関する留意事項について

①工賃の減額を課さない ②利用者の技能に応じて工賃に差が設けられていない

このような条件がゆめサポートバクの工賃規定には組み込まれておらず、「就労継続支援事業利用者の労働者性に関する留意事項について」の内容にそぐわない可能性があった。

事業所で取り組んだこと

◎現状の確認と理想像のすり合わせ

- ・規定を1つずつ一緒に確認していき、課題を浮き彫りにする取り組みを行った。
- ・理想像のすり合わせはアドバイザーの講師と私たちの方向性を一緒にするためにおこなった。

◎規定をかえていくための具体的な案として

- ・減額という概念を規定からなくすために、積み上げ型の支払方法を検討した。
- ・工賃が能力や効率ではなく役割で変わることを規定に入れるため、作業アセスメントシートの作成を行った。

実際に取り組んでみて

- ・作業の洗い出しが多く大変だった。1つ1つの作業を言葉にすることの難しさがあったが、皆がわかる表現の仕方を工夫した。
- ・色んな作業班の作業を知る機会になった。また実際に関わっている利用者の顔を思い浮かべながら、「この作業はAさんがいま担当しているね」「どう言い換えたらBさんの仕事をシートに表現できるか」等、チームのメンバーで話し合えたことが良かった。



感想

- ・事業所の課題にどう立ち回ったらいいのか、これから取り組んでいこうとしている事は趣旨に沿っているのか、などの不安に思う事が少なかったと感じました。
→今回の工賃規定見直しは、見直し経験のある方が事業所内におらず不安だらけでした。
- ・見通しの持てない課題にぶつかった時には、このようなアドバイスしてくださる方がいることで安心するのだと思います。
- ・また「やろう！」という気持ちに火をつけて下さったのも講師の方でした。気持ちが冷めることなく継続できたのも講師の存在があったからだと思っています。
- ・実際にアドバイザー派遣を受け、自分たちの理解以外の「客観的な要素」を取り入れながら進められたため、自分たちが考えていなかった点も指摘を受けられてよかったです

課題解決への道 発見！

～より良い結果を生み出すために～

「長引くコロナの影響を受け事業所運営が大変になった」「就労収支については、売上の大幅減、仕事がなくなる……」と事業所からのお悩みの声が、弊社にも多く届きます。そのような苦しい状況を好転していくために、弊社の研修を受講された事業所様の取り組み事例や、成果、感想などを紹介します。

特定非営利活動法人どりーむ

事業種目：就労継続支援B型

作業科目：園芸・農作業・清掃・内職



研修受講前の事業所での課題

◎工賃収入の向上、販路拡大

平均工賃を向上させるため、いかに収入を増やすのか？／新規顧客の獲得にどう取り組むか？

◎内職の生産性向上

マンネリ化した作業に対して、いかに意識改革を行うか？／作業効率を向上させるにはどうしたらいいのか？

事業所で取り組んだこと

◎作業アセスメントシートの作成

1. 各作業の工程を項目ごとに書き出し難易度を設定した
2. 作業効率向上のために生産ラインの再構築
3. 「なぜ」タイムロスが生まれるのかを徹底的に検討→改善を繰り返した

◎育苗の専門的なアドバイスをもらう

1. 農業振興センターに事前に連絡し、質問票を送り問題点のアドバイスを受けた
2. 自分たちでわからないことは質問するようにして、専門家のアドバイスを実践した

◎園芸商品の単価見直し

1. 品質を改善し、販売価格を引き上げた
2. 事業所PR用のパンフレットを作成
3. 営業先のリストを作成し、訪問して事業所の存在の周知に努めた



成果・今後の取組み方針

- ・生産ラインを見直し、タイムロスの原因を把握し改善出来た
- ・作業ごとに難易度を設定し、時給に反映させることで作業意欲の向上につながり、生産性向上に成功した
- ・専門家のアドバイスを受け、品質向上に努め、価格を引き上げ、売上の増加を実現した
- ・お客様より「ここの苗は良い苗だね」と言っていたことが多くなり、リピーターが増えた
- ・営業の成果が見られ、新規取引先が増えた

感想

アドバイザー派遣を受けて、事業所での課題の多さに何から手を付けていいのかわからないくらいでした。しかし、いただいたアドバイスにタスクをつけて、ひとつずつ実行していくうちに成果がみられました。

成果が出ると職員と利用者共にモチベーションが上がり、今までマンネリ化していた作業も一人一人が考えて行動できるようになりました。作業ごとに難易度を設けたことにより、現状を把握し次のステップに向けて意欲的になりできることが増えました。工賃にも反映される仕組みを取り入れることで利用者満足度向上にもつながったと思います。まだまだ職員の意識統一という面では課題があるので毎年研修に参加しようと思います。